



輝き

～「Open Share そして Team で」～



令和4年9月1日 三木市立三木特別支援学校

好奇心 ～自分の「好き」を見つける2学期に～

「好奇心」とは、物事を探求しようとする根源的な心。自発的な調査・学習や物事の本質を研究するといった知的活動の根源となる感情を言う。

(Wikipedia)

もっと「見たい」「聞きたい」「知りたい」

「さわりたい」「やってみたい」…………

こんな思いが、子どもたちの、そして私たちの活動の普遍の原動力であり成長の源です。

本日、2学期が始まり、子どもたちの声が学校にかえってきました。いい表情、顔、声……。

充実した夏休みだったことがうかがえます。さて、

「何が好き？」

と聞くと答えに困る子どもも

「どっちが好き？」「どちらをしたい？」「やりたい、それともやりたくない？」

とたずねると、言葉や指さしや表情で一生懸命伝えてくれます。ちょっと苦手なことを伸ばしていくことも大切ですが、指導支援する側が、一人ひとりの「好き」をたくさん見つけ応援し、子どもたち自身が自分の「好き」をたくさん見つけられる体験や学習を行う2学期にしていきたいと思います。

今学期も感染症対策が求められる中の学校生活となります。一人ひとりの様子に目と心を向け、耳を傾け、好奇心を大切に教育活動を実施していきます。



「防災の日」…自分の身を守るために…



9月1日は「防災の日」そして9月は「防災月間」となっています。ここ数年、各地で集中豪雨による災害の発生が増えています。これまでも、一人ひとりの状況を様々に想定し、「動けなくなったら〇〇しよう」「〇〇の方がスムーズではないか」等々協議しながら訓練を行ってきました。夏季休業中に福祉避難所としての設備の点検も行いました。緊急時をより厳しく想定し、「いざ」というときどうするのか」「何か方法はあるのか」について、検討、見直していくことが命を守ることにつながります。

万が一に備え、その子なりの「自分の身は自分で守る」力を把握して、伸ばすとともに、ご家庭や地域で活用できる施設、設備等の再確認を、ご家庭でもお願いします。

(校長 佐野 順子)

